

成果指標				
成果指標	本事業は、契約に基づく請求に基づき利子補給を行う事務のため、指標設定は行わないものとする。			
指標設定の考え方	0			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	0	0	0	0
実 績	0	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本事業は、契約に基づく請求に基づき利子補給を行う事務のため認識される自己課題は認められず、引き続き制度周知に努めるのみである。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)並びに農業近代化資金の借受者に対する利子補給事業で、事業効果は発揮されており、引き続き実施する必要がある。なお、利子補給が減少傾向にあり、資金活用について対象農家への啓発をさらに効果的に行なう必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題